

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立新池中学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数(187人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「生徒アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比較すると上位層が多い傾向がある。

平均正答率(本校 78/泉佐野市 75/大阪府 75/全国 77.4)

「B区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率(本校 72/泉佐野市 67/大阪府 69/全国 72.2)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

| 国語A | 特徴がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すことに課題がある。</p> <p>2ニ スピーチの構成を説明したのとして適切なものを選択する (73.8/79.6)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができている。</p> <p>6一 登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する (81.8/74.8)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく書くことができている。</p> <p>9一1 漢字を書く(組織のキボを大きくする) (68.4/62.8)</p> <p>9一2 漢字を書く(雨で運動会がエンキになる) (71.1/62.3)</p> | <p>○楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択することが非常にできている。</p> <p>9六1 楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する (80.7/49.6)</p> <p>○古典には様々な種類の作品があることを知ることができている。</p> <p>9七2 「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する (84.0/78.5)</p> |

| 国語B | 特徴がみられた設問 |
|--|-----------|
| <p>○目的に応じて資料を効果的に活用して話すことに課題がある。</p> <p>2一 スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する (80.7/85.4)</p> <p>○必要な情報を集めるための見通しをもつことができている。</p> <p>3三 アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く (73.8/68.8)</p> | |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|------|-------------|------|
| 国語の勉強は好きですか | 58.4 | 60.5 | | 2.1 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか | 91.6 | 88.8 | | 2.8 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか | 67.9 | 74.9 | ◇ | 7.0 |
| 読書は好きですか | 59.5 | 69.9 | ○ | 10.4 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 82.1 | 83.3 | | 1.2 |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか | 47.9 | 62.7 | ○ | 14.8 |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか | 47.9 | 55.6 | ◇ | 7.7 |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けていますか | 62.6 | 65.9 | | 3.3 |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか | 94.8 | 95.9 | | 1.1 |

○漢字を正しく書くことや、古典や書道などの基礎的な知識はかなり定着している。

○自分の伝えたいことを聞き手にわかりやすく伝えるように工夫することや、資料を活用して話すなどの力が不足している。この課題を解決するために、授業で話し手の立場から説明するとともに、聞き手の立場からも、説明の仕方や工夫についての効果や改善点などを検討するような学習を取り入れていく。

○読書が好きである、と回答している生徒が全国の回答結果と比べると、非常に少ない。授業などで本に触れる機会を増やしたり、図書委員会などを中心に興味を持つような本の紹介をしたり、読書強化週間を行ったり学校全体の取り組みとして推進していく。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(数学)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比較すると上位層がやや多い傾向がある。

平均正答率(本校 69/泉佐野市 61/大阪府 64/全国 64.6)

「B区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比較すると中間層がやや多く上位層がやや少ない傾向がある。

平均正答率(本校 47/泉佐野市 43/大阪府 46/全国 48.1)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

| 数学A | 特徴がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【数と式】</p> <p>○2つの負の数の和は負の数になることを理解することは概ねできる。 1(2) aとbが負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ。(77.5/69.3)</p> <p>○加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算は概ねできる。 1(3) $10 - 6 \div (-2)$ を計算する。(84.0/75.6)</p> <p>○数量の関係を文字式で表すことに課題がある。 2(1) 5mの重さがagの針金の1mの重さを、aを用いた式で表す。(50.8/56.3)</p> <p>○整式の加法と減法の計算は概ねできる。 2(3) $(2x + 5y) - (6x - 3y)$ を計算する。(86.1/78.5)</p> <p>○等式を目的に応じて変形することは概ねできる。 2(4) 等式 $x + 4y = 1$ を y について解く。(65.8/56.1)</p> <p>○具体的な場面で、一元一次方程式をつくることは概ねできる。 3(2) 数量の関係を一元一次方程式で表す。(58.3/52.8)</p> <p>○二元一次方程式の解の意味を理解することは概ねできる。 3(3) $x + y = 2$ の解の意味について選ぶ。(66.3/59.6)</p> | <p>【図形】</p> <p>○円柱の体積を求めることは概ねできる。 5(4) 円柱の体積を求める。(58.8/51.8)</p> <p>○錯角の意味を理解することは概ねできる。 6(1) 錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ。(61.0/43.1)</p> <p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することは概ねできる。 7(1) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く。(84.0/78.6)</p> <p>○命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることは概ねできる。 8 事柄「$\angle ABD = \angle CBD$, $\angle ADB = \angle CDB$ ならば、$AB = CB$である。」の仮定をすべて書く。(81.3/74.3)</p> <p>【関数】</p> <p>○与えられた比例の式について、xの値に対応するyの値を求めることは概ねできる。 10(1) 比例 $y = 4x$ について、xの値が3のときのyの値を求める。(48.7/34.4)</p> <p>○与えられた比例のグラフから、xとyの関係を $y = ax$ の式で表すことは概ねできる。 10(2) 比例のグラフから式を求める。(66.8/57.1)</p> <p>○与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解することは概ねできる。 10(3) 反比例の表から比例定数を求める。(48.7/34.4)</p> |

| | |
|--|--|
| <p>○与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解することに課題がある。</p> <p>11(2) 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。 (45. 5/56. 0)</p> | <p>【資料の活用】</p> <p>○与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることは概ねできる。</p> <p>14(2) 6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。 (56. 1/45. 5)</p> <p>○「同様に確からしい」ことの意味を理解することは概ねできる。</p> <p>15(1) さいころを投げるときに「同様に確からしい」ことについての正しい記述を選ぶ。 (84. 5/78. 0)</p> |
|--|--|

| 数学B | 特徴がみられた設問 |
|--|---|
| <p>【図形】</p> <p>○事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることに課題がある。</p> <p>1 (1) 隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ。 (62. 0/67. 5)</p> <p>○筋道を立てて考え、証明することは概ねできる。</p> <p>4 (1) 2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明することは概ねできる。 (56. 1/44. 1)</p> | <p>【関数】</p> <p>○数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することは概ねできる。</p> <p>3 (3) 与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める。 (52. 4/43. 2)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することに課題がある。</p> <p>5 (2) 全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ。 (39. 6/50. 3)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|------|
| 数学の勉強は好きですか | 62.7 | 55.4 | ◇ | 7.3 |
| 数学の勉強は大切だと思いますか | 84.2 | 81.1 | | 3.1 |
| 数学の授業の内容はよく分かりますか | 80.5 | 69.4 | ○ | 11.1 |
| 数学ができるようになりたいと思いますか | 91.0 | 91.2 | | 0.2 |
| 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか | 75.8 | 73.5 | | 2.3 |
| 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか | 41.0 | 45.3 | | 4.3 |
| 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 69.5 | 72.4 | | 2.7 |
| 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか | 68.5 | 71.2 | | 2.7 |
| 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか | 66.8 | 72.1 | ◇ | 5.3 |
| 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか | 83.2 | 81.3 | | 1.9 |
| 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか | 94.7 | 93.3 | | 1.4 |

○数学的な技能を問う基本的な計算の問題において、正答率が全国と比較をして高い傾向にあることから基礎学力が充実している。

○解き方や語句の意味を問う問題での正答率が、それ以外の問題と比べ低い傾向にある。その力を伸ばすためには、公式を授業で指導する際に、その根拠をより丁寧に指導をすることや数学的な語句を答える発問をしていく。

○記述式の問題において、正答率が低いことに合わせて、無回答率が高くなっている。このことから、自分の考えを上手く言葉で表現できず、そのことに自信が持てていないことが考えられる。この課題を改善するために、授業の中で解答に至るまでの過程や根拠を説明する場面を作っていく。

○数学が好きで、内容もよく理解できている生徒の割合が高いのに対して、もっと簡単に解く方法はないかと考える生徒の割合が低いという結果になっている。このことから、型にはまったことはできるが、さまざまな視点から問題に取り組むことができていることがわかる。この課題を改善するために、1つの解き方だけでなく、違う解き方を考えさせることにより、数学的な考え方をより深めていく。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(生徒質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

| 設問内容種別 | 本校の状況 | 本校 < 本校回答率 / 全国回答率 > |
|--|---|---|
| 【家庭生活の様子】 | ○多くの生徒が規則正しい生活を送っていると考えられる。 | ○朝食を食べていますか <91.0/93.2> |
| | | ○毎日, 同じくらいの時刻に寝ていますか <70.6/75.6> |
| | | ○毎日, 同じくらいの時刻に起きていますか <94.2/92.4> |
| | ○普段(月～金曜日), 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットを長時間する生徒が全国を大きく上回っている。 | ○普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) |
| | | 4時間以上 <14.2/9.5> 3時間以上, 4時間より少ない <11.6/8.6> |
| | ○普段(月～金曜日), 読書をしたり, 図書館に行ったり, 本に触れる機会は全国を大きく下回っている。 | ○学校授業以外に, 普段(月～金曜日), 1日あたりどれくらいの時間, 読書を行いますか(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く) |
| 全くしない <55.3/35.6> | | |
| ○家の人とルールを決めたり, 将来のことについて話したりすることは, 全国を大きく下回っている。 | ○昼休みや放課後, 学校が休みの日に, 本(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く)を読んだり, 借りたりするために, 学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか | |
| | だいたい週に4回以上行く <0.5/2.2> ほとんど, または, 全く行かない <67.4/58.0> | |
| ○家の人とルールを決めたり, 将来のことについて話したりすることは, 全国を大きく下回っている。 | ○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか | |
| | <27.9/34.0> | |
| | ○家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがありますか | |
| | <51.1/60.7> | |

| | | |
|------------------|--|---|
| | <p>○地域や社会で起きていることへの関心は低く、行事やボランティア活動への参加は全国を大きく下回っている。</p> | <p>○家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか <76.8/84.1></p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか <26.8/42.1></p> <p>○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか <53.6/59.2></p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはありますか <21.0/33.4></p> <p>○地域社会などでボランティア活動に参加したことはありますか <62.6/70.6></p> |
| <p>【家庭学習の様子】</p> | <p>○学校の授業時間以外に、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりの勉強時間は、全国を大きく上回り、学習意欲が高いと言える。</p> <p>○学習塾(家庭教師を含む)に通っている生徒は、全国を大きく上回っている。</p> <p>○家で、計画的に勉強をし、宿題も9割近い生徒が行えていると言える。</p> | <p>○学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)</p> <p>3時間以上 <17.9/10.1> 2時間以上、3時間より少ない <30.0/25.3> 1時間以上、2時間より少ない <30.0/34.2> 30分以上、1時間より少ない <12.1/17.2></p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)</p> <p>4時間以上 <8.4/5.7> 3時間以上、4時間より少ない <12.6/12.1> 2時間以上、3時間より少ない <27.4/24.0> 1時間以上、2時間より少ない <26.3/27.6> 1時間より少ない <21.1/20.4> 全くしない <4.2/10.0></p> <p>○学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか 学習塾に通っていない <23.7/38.5></p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <53.2/51.5></p> <p>○家で、学校の宿題をしていますか <91.1/89.5></p> |

| | | |
|-------------------------|--|---|
| | <p>○家で、授業の予習を行っている生徒は、全国を下回っているが、復習を行う生徒は全国を上回っている。</p> | <p>○家で、学校の授業の予習をしていますか <26. 8/31. 7></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか <56. 4/50. 5></p> |
| <p>【学校での 学習の様子】</p> | <p>○学校で、好きな授業がありますかでは、全国を下回っている。</p> <p>○学校の規則を守れている生徒は、全国を下回っている。</p> | <p>○学校で、好きな授業がありますか <72. 1/79. 2></p> <p>○学校の規則を守れていますか <88. 5/95. 2></p> |

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ・1年生と2年生の英語科、3年生の数学科で少人数習熟度別指導を行っている。
- ・全学年で朝の学習を実施している。テスト前や、授業内容の定着のために、大阪府教育委員会から配信されている「学習指導ツール」の中の「ワークシート」や「力だめしプリント」を活用している。
- ・eライブラリの、学習プリントや全国入試問題の過去問を利用して、学習内容の定着を図っている。
- ・まなびんぐサポート事業を活用し、1年生の希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・長期休業中には、全学年で補充学習を実施している。
- ・1年生では、テスト前に補充学習を実施し、全学年の教員で関わって行っている。
- ・家庭学習を定着させるために、学年や学校全体でマイチャレンジ(自学自習ノート)の取組みを行っている。
- ・情報教育についての授業を実施している。その中で、スマートフォン・携帯電話の使用に関する学習を通して情報モラルについて理解を深めている。
- ・泉佐野スタンダードを用いて、授業担当者向けのアンケートを実施し、日々の授業の振り返りを行っている。
- ・学力向上推進委員会が主催して、学期ごとに研究授業を実施している。今年度は、教員の「授業力向上」をテーマに、泉佐野スタンダードを用いて授業力向上に力を入れている。
- ・市内統一アンケートの結果を分析・検証し、指導につなげている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研修を実施している。
- ・泉佐野市教育委員会主催の授業・保育づくり研修においても、研究授業を実施している。
- ・学期ごとに、生活アンケートを実施し、生徒一人ひとりの教育相談も行うことで、生徒の状況把握に努めている。
- ・6月にhyper-QUを実施し、その分析・検証を校内研修で行い、本校の生徒の状況把握や理解に全職員が努めている。
- ・今年度も新池中学校区の小学校とも合同で研修を行った。
- ・4月に生徒指導に関しての校内研修を実施し、全職員が同じ方向性を持って指導できる環境や体制を構築している。
- ・生徒会や部活動に参加している生徒を中心に、青少年指導員やPTAの方々とともに校区内の地域活動を行っている。
- ・11月に実施した新池ふれあいフェスタでは、地域の方々と生徒会で、防災に関する取組みを行った。

◎これからの取組み

- ・2回目のhyper-QUを11月に実施し、生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し、生徒一人ひとりの状況や学級の状態を的確に把握することにより生徒理解を深めながら、より適切な指導や対応につなげていく。
- ・学力向上推進委員会主催の研究授業を2学期と3学期に実施する。
- ・大阪府教育委員会から配信されている「学習指導ツール」の中の「ワークブック問題」を積極的に活用する。